くみあいNEWS

第１５２５８号
2021年8月31日(火)
発行責任者
日本製鉄和歌山労働組合
組織教宣部
WAKAYAMA WORKERS' UNION

組合ＨＰ：http://nssmwu.jp/　　代表内線番号　和歌山地区(本部)(54)－3590
堺地区　652990／海南地区(54)－5555

2021年度第26回中央委員会報告

【日時】8月30日（月）17時15分～18時30分
【出欠】出席90人　委任8人　欠席0人
【議長】清水氏

Ⅰ.報告事項

1. 上部団体会議報告
・第41回中央執行委員会
・中央労使協議報告
2. 2021年度第4／四半期決算報告並びに会計監査報告
3. 箇所労使協議報告
・2021年9月度生産計画について
・海南第三食堂の運営変更（食堂機能の停止）について
4. 第52期支部間安全交流の実施報告
5. ＮＳＧＲカレンダー作成に伴う「安全ポスターおよび安全標語」審査結果
6. 和歌山県労働者共済生活協同組合「第64回通常総代会」およびこくみん共済 coop 和歌山推進本部「第4回組合員代表者会議」報告

Ⅱ.審議事項

1. 特別執行委員の任命に関する件（案）
2. 日本製鉄労連「第12回定期大会」並びに日本製鉄グループ総連合「第9回定期総会」対策に関する件（案）
3. 基幹労連「第19回定期大会」対策に関する件（案）
4. 日本製鉄和歌山労働組合「第9回定期大会」告知に関する件（案）
5. 日本製鉄和歌山労働組合「第9回定期大会」開催要領に関する件（案）
6. 組合規程の一部改正に関する件（案）
7. 和歌山労組の職員採用に関する件（案）

Ⅲ.その他

1. 9月度日程について

報告事項6件、異議なく承認
審議事項7件、満場一致で可決決定

中央委員会の議事内容（抜粋）を紹介します

ＮＳＧＲカレンダー作成に伴う「安全ポスターおよび安全標語」審査結果

1.応募総数

安全ポスター　　24枚
安全標語　　2，795件

2.審査結果

（1）安全ポスター

【最優秀作品】

・製銑支部
野間（のま）　慶彦（よしひこ）さんのお子さん　帆乃珠（ほのか）さん
名津美（なつみ）さん
妻　晶子（あきこ）さん・・①

【優秀作品】

・総務支部
上野山（うえのやま）　陽二（ようじ）さんのお子さん　夢（ゆめ）さん
友紀（ゆき）さん・・②

・大形支部
伊藤（いとう）　恒雄（つねお）さんの作品・・・・・・・・・・③

①



②



③



（2）安全標語

【最優秀作品】

製銑原料支部：吉田（よしだ）　拓也（たくや）さんの作品

『決まったルールは必ず守る！

家族の希望はゼロ災職場!!』

【優秀作品】

中央整備支部：髙野（たかの）　敏之（としゆき）さんの作品

『ルールを守る　強い意志

皆で目指す　ゼロ災職場』

製鋼整備支部：坂口（さかぐち）　直弥（なおや）さんの作品

『いけるかも　少しの油断が怪我のもと

6 則遵守で安全作業』

特別執行委員の任命に関する件

1. 特別執行委員

派 遣 先	役　職	氏　名
・連合和歌山 ・こくみん共済 coop 和歌山推進本部	会　長 本　部　長	池田　祐輔
・日本製鉄労連	本部執行委員	稲垣　利光

2. 任命期間

2021 年 9 月 1 日～2023 年 8 月 31 日

但し、派遣先団体の任期および在職期間とする。

組合規程の一部改正に関する件

2021 年 9 月 1 日より支部名を改訂することや、2021 年 4 月より人事処遇制度が改訂され定年年齢が 65 才への引き上げられたことに準じ、組合職員の定年年齢の見直しを行うことから、規程の一部改正を行うこととする

改正の詳細については、和歌山労組ホームページの中央委員会資料に記載しておりますのでご参照ください。

日本製鉄和歌山労働組合「第 9 回定期大会」告知に関する件

1. 開催日時

10 月 9 日（土）　9 時 00 分～11 時 45 分

2. 開催場所

和歌山：組合会館　大会議室

堺　：組合事務所　会議室

海　南：組合事務所　会議室

3. 大会準備

大会準備委員は、議事規程第 7 条により、執行委員会があたり、大会に必要な準備をする。

4. 議　　案

大会準備委員会が提出する議案は、議事規程 8 条により、本中央委員会に提出する。

5. 議案提出

支部または組合員がこの大会に議案を提出しようとするときは、議事規程第 9 条により、9 月 17 日（金）までに文書をもって提出すること。

6. 第 9 回定期大会における議案

＜第 1 号議案＞第 53 期運動方針に関する件（案）

＜第 2 号議案＞2022 年度会計予算に関する件（案）

その他の中央委員会議事については、和歌山労組ホームページの中央委員会資料に記載しておりますのでご参照ください。

～和歌山労組第 52 期　組合長総括挨拶～


山本組合長

中央委員の皆様、ご安全に。

第 52 期後半年度、最後の中央委員会へのご対応、大変お疲れ様でした。閉会を迎えるにあたり、今任期の総括という形でご挨拶を申し上げます。

一昨年の 9 月 3 日に開催した第 1 回中央委員会における組合長挨拶の中で、

・労働組合の最優先課題である安全と健康の確保に向けて災害の芽を潰していく決意である。
・労働組合主義の観点で経営委員会を中心に労使議論を深め、安定操業、品質確保、諸施策の点検を強化していく。
・組合員のニーズが多種多様であることから、ふれあい対話や生活総点検活動、ワーク・ライフ・バランス、要人員設定の適正化など、組合員の要望に応えられるよう尽力していく。
・和歌山地区の労使・直協がさらに一枚岩となって厳しい経営環境を乗り越え、日本製鉄における新たな価値を創造するために、和歌山労組の揺るぎない運動・活動に邁進しよう。

以上、大きく 4 点についての思いを中央委員の皆様に申し上げました。

明日をもって今任期が終了しますが、振り返ってみて 2 年間がどうであったか、お一人おひとりの捉え方は千差万別であろうと思います。しかしながら、昨年 1 月 15 日に日本国内で初めて新型コロナウイルス感染症が確認されて以降、急速に全国へ蔓延し、我々の職場でも感染拡大防止対策の徹底はもとより、プライベートにおいても慎重な対応を取らざるを得ないなど、日常生活への影響を未だに強いられている現実に晒されており、労働組合の機能にも支障を来したことは否めません。

こうした中で和歌山労組が進めてきた運動を振り返ると、まず安全活動については、門前立哨や現場巡視を中心とした直協すべての仲間に対する声かけ、安全衛生委員会での労使一丸となった災害未然防止への働きかけなどを実施してきたところであり、和歌山地区における昨年から足元までの休業以上の無災害に少なからず繋がっているものと捉えております。

次に、経営諸施策への対応としては、生産設備構造対策や中長期経営計画で発表された和歌山地区における厳しい諸施策に対し、執行部・支部の連携による職場説明ならびに意見集約、これらを踏まえた中央および箇所における真摯な労使協議など、真正面から向き合って参りました。将来への不安が払拭された訳ではありませんが、組合員のご理解と労使協調により、盤石な経営基盤の構築に向けて一歩一歩前進していく道筋を示すことが出来たのではないでしょうか。

また、職場環境の改善という課題については、毎月の職場労使委員会での支部要望に対する会社の対応が図られた事例の数々や生活総点検活動における要望事項への回答を通じて解決の糸口を見いだせた事例など、可能な限り職場環境の改善に寄与出来たものと認識しております。

一方、ＡＰ春季取組みでは、厳しい経営環境下にあることを踏まえつつ「人への投資」として、20 年度 3，000 円、21 年度 3，000 円の賃金改善を要求しましたが、会社回答は見送られ、再考要請するも前進が図られず、2 年間の賃金改善ゼロという厳しい結果に終わりました。ただし、「雇用の場の確保が経営としての最優先であり、誇りをもって働ける会社としていく」とする会社見解は、組合員への激励メッセージとして日本製鉄労連および各単組とも受け止めた次第であります。

また、本年 4 月から定年年齢の 65 才への引き上げおよび関連する人事処遇制度が改訂されましたが、日本における雇用慣行の変化に伴い、多様な人材を公平かつ納得的に処遇する制度であり、このことが組合員の生活向上に資するものか、今後も運用面を注視して参ります。

続いて、労働組合の重要テーマである産業政策、政策・制度を中心とした政治活動についてですが、和歌山労組推薦議員の皆様とともに生活総点検活動で取り上げた地域課題や国政ならびに地域行政に関する意見交換等、連携をしながら活性化を図り、コロナによる一定の制約があったものの意義ある活動を展開することが出来ました。今後は、近々公示される衆議院選挙ならびに来年の参議院選挙における推薦候補予定者の必勝が至上命題であり、とりわけ「村田きょうこ」氏を国会に送り出すべく、和歌山労組の総力を挙げた支援活動を推進して参りますので、絶大なるご支援をお願い致します。

さらに、教育・情宣活動にも力を入れてきました。日本製鉄社員の賃金制度や福利厚生関係、労働組合の共済関係や契約施設紹介など、和歌山労組組合員としての知識の向上に役立てて頂きたいとの観点で「賃金福祉ノート」を作成し、全組合員へお配り致しました。ぜひご活用頂き、会社ならびに労働組合への興味・関心を高めて頂ければと思います。

加えて、新入組合員向けの「組合ガイドブック」や「組合活動実践マニュアル」も作成し、教育資料の充実化を図っており、「組合ニュース」や「ホームページ」など従来の媒体に加え、「ＬＩＮＥ公式アカウント」を立ち上げ、組合活動報告やお役立ち情報など、足元 1，362 件の組合員にご利用頂いております。今後もＬＩＮＥの輪を広げて参りたく、ご登録のほどよろしくお願い致します。

このような取組みを展開してきた反面、労使共催の「ユニオン杯」である大運動会や駅伝大会、製鉄所祭り、各支部の盛り上げ活動、青年女性部の行事イベントなど、苦渋の決断により中止せざるを得ず、組合活動の魅力が半減したことも事実です。何よりも組合員の皆様にご参加頂く機会を設けることが出来なかった事が心残りであり、来期は知恵を絞ってどのような行事をどのような形式であれば実施出来るのか検討して参ります。

いずれにしましても、和歌山労組は上部団体である基幹労連や日本製鉄労連、また地域団体では連合和歌山ならびに連合大阪、さらに事業団体である労金やこくみん共済 COOP 等と常に連携を図りながら、組合員の生活の安心・安定を向上させるべく精力的に労働運動を推進していくことは揺るぎない理念であります。来期においてもコロナの収束は不透明ではありますが、執行部・支部・青年女性部が一枚岩となって和歌山労組を盛り上げて参りましょう。

何よりも、今任期でご勇退される支部役員、青年女性部役員、そして執行部の皆様におかれましては、取り巻く環境が大変厳しい中、持ち場立場で和歌山労組をお支え頂きました事、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願い致します。

結びとして、9 月からスタートする第 53 期においても、関西製鉄所和歌山地区に集う組合員の皆様とともに、安全と健康の確保を最優先に会社生活を送って頂くことを大前提として、和歌山労組の運動・活動に絶大なるご理解とご協力を頂きながら一致団結で前進して参りましょう。2 年間、本当にありがとうございました。

ご安全に。